

2016年度日本マスターズ水泳短水路大会

三重（鈴鹿）会場のご案内

本年度の日本マスターズ水泳短水路大会・三重（鈴鹿）会場は、参加者数1,064人になりました。全競技を滞りなく終了するためには、参加者皆さんの積極的なご協力が必要になります。各チームにおかれましては、参加者の方々に下記の事項についての周知徹底をお願いします。

1. 大会日程

	4/24(日)	
開場	8:30	
ウォーミングアップ	メインプール 8:30~9:30 サブプール 8:30~競技終了	
チームリーダーミーティング	9:00~9:15 選手控室2 (P3会場案内図⑫)	
公式スタート練習	9:10~9:30	
開会式	9:45	
競技開始	10:00	
競技終了 (予定)	A面 16:00	B面 15:47

※ 公式スタート練習時間は、P8「5. 競技参加の注意<スタートについて>(3)」を参照。

<チームリーダーミーティング> (監督者会議)

競技についての詳細と変更事項を連絡します。
必ずチームの代表者または代理の方が出席し、出場選手全員に連絡してください。

2. 大会会場

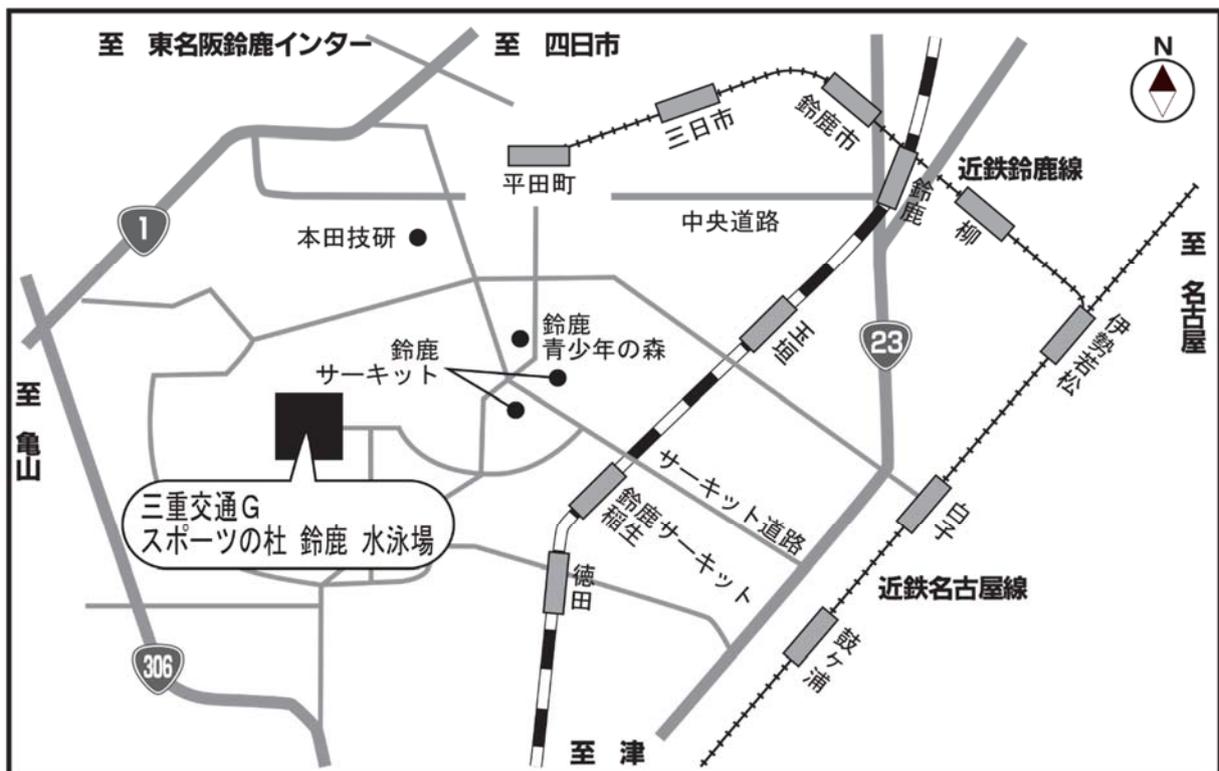
「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場」

(公認 25m × 8レーン 2面)

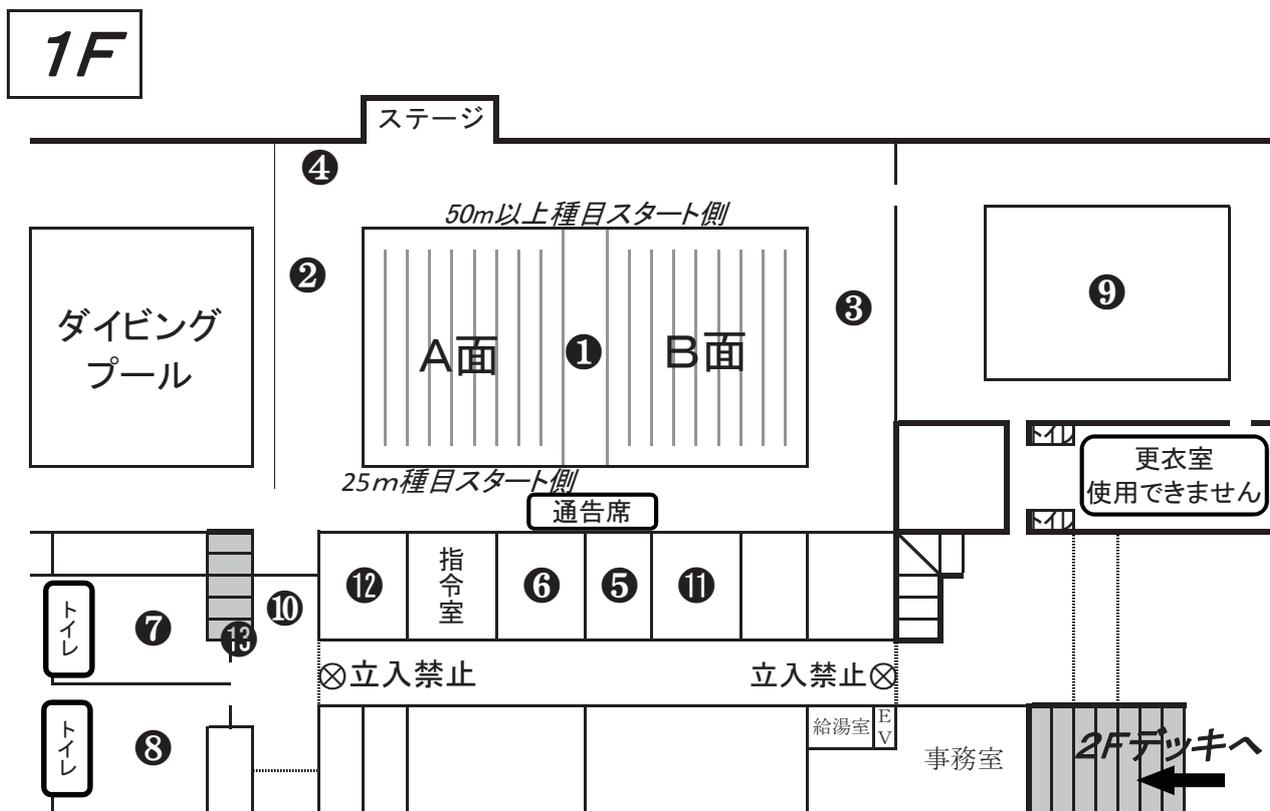
三重県鈴鹿市御園町1669

<交通機関>

- 近鉄名古屋線「白子駅」より
南部地域コミュニティバス白子・平田線ベルシティ行き
スポーツガーデンロ (白子駅より20分) 下車徒歩15分
- 近鉄鈴鹿線「平田町駅」より
南部地域コミュニティバス白子・平田線白子駅西行き
スポーツガーデンロ (平田町駅より60分) 下車徒歩15分
- 伊勢鉄道「徳田駅」より
南部地域コミュニティバス白子・平田線ベルシティ行き
スポーツガーデンロ (徳田駅より15分) 下車徒歩15分
- 近鉄名古屋線「白子駅」より タクシーで約20分 (約3,500円)
- 東名阪鈴鹿インターチェンジより 車で約30分
- 東名阪亀山インターチェンジより 車で約20分



3. 会場案内図



①メインプール

・25m×8レーン 2面

②A面招集所

・200m以下の個人種目、リレー種目

③B面招集所

・400m以上の個人種目

④IDカード返却所

⑤救護室

⑥大会本部

⑦男子更衣室

・⑬の階段をご利用ください。

⑧女子更衣室

・⑬の階段をご利用ください。

⑨アッププール

・水深1.3m 飛び込みは出来ません。

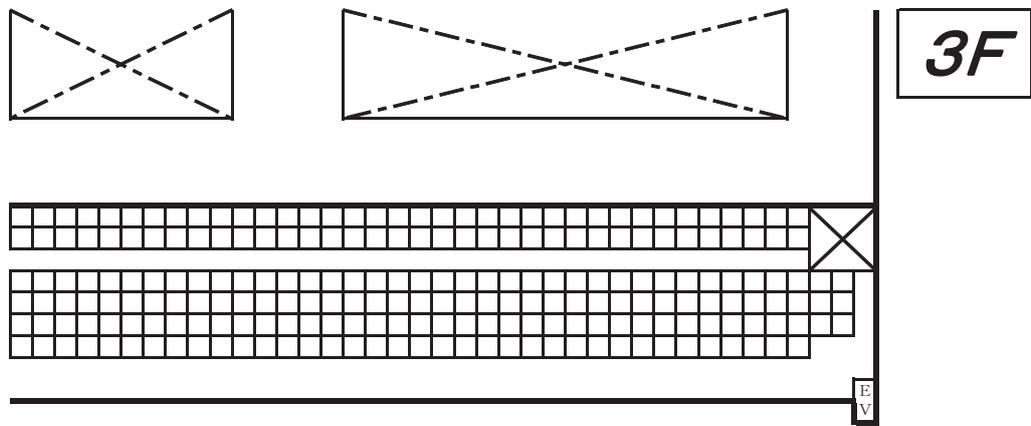
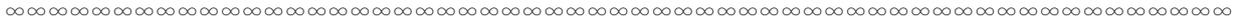
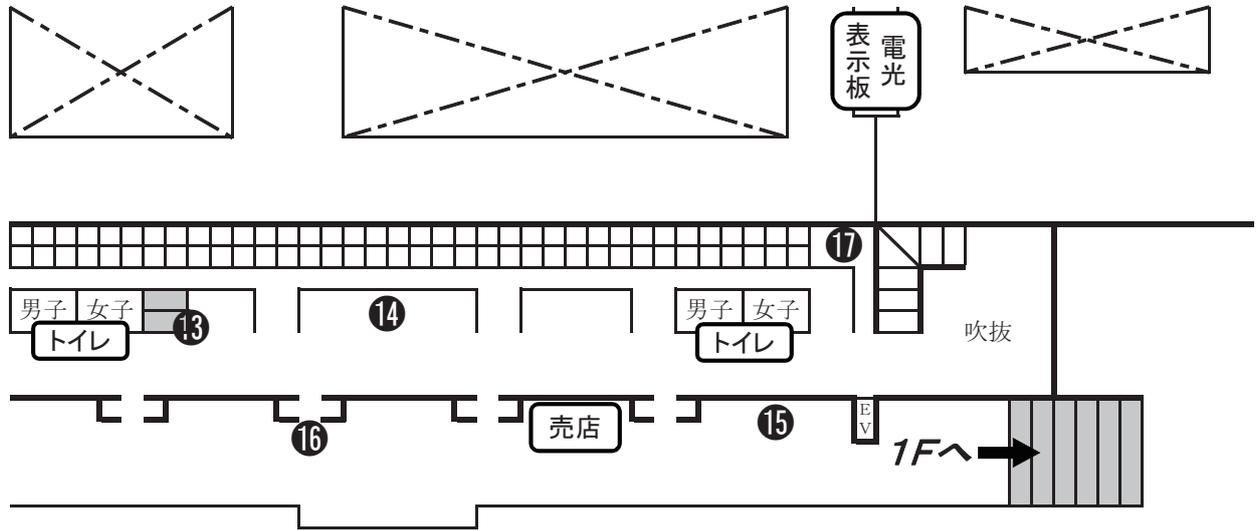
⑩役員受付

⑪競技役員控室

⑫チームリーダー

ミーティング会場

2F



⑬階段

・プール、更衣室への階段

⑮公式掲示板

・ランキング

⑭大会受付

※インフォメーションデスク

※メダル受渡し所

- ・チーム受付
- ・リレーオーダー変更申請
- ・撮影許可申請

⑯選手入場口

⑰身体障がい者席

※身体に障害のある方の専用席です。
一般の方は使用できません。

4. 競技開始予定時刻

開場	8:30	
ウォーミングアップ	8:30～9:30	メインプール・25m×8レーン・水深2.6m サブプール(25m×7レーン・水深1.3m)は終日利用可能です。
公式スタート練習	9:10～9:30	A面全レーンを使用していきます。
開会式	9:45	
競技開始	10:00	
競技終了	16:00	

A 面 競 技

1	女子	200m 自由形	4組	10:00	19	男子	100m 背泳ぎ	3組	13:16
2	男子	200m 自由形	6組	10:16	20	女子	100m 平泳ぎ	5組	13:22
3	女子	4×25m メドレーリレー	2組	10:38	21	男子	100m 平泳ぎ	7組	13:35
4	男子	4×25m メドレーリレー	2組	10:43	22	女子	100m バタフライ	2組	13:50
5	女子	25m 自由形	11組	10:47	23	男子	100m バタフライ	5組	13:56
6	男子	25m 自由形	14組	10:56	24	女子	4×25m フリーリレー	2組	14:06
7	女子	25m 背泳ぎ	6組	11:07	25	男子	4×25m フリーリレー	2組	14:11
8	男子	25m 背泳ぎ	6組	11:13	26	女子	50m 自由形	11組	14:14
9	女子	25m 平泳ぎ	5組	11:19	27	男子	50m 自由形	20組	14:27
10	男子	25m 平泳ぎ	7組	11:23	28	女子	50m 背泳ぎ	5組	14:48
11	女子	25m バタフライ	7組	11:29	29	男子	50m 背泳ぎ	6組	14:55
12	男子	25m バタフライ	8組	11:35	30	女子	50m 平泳ぎ	6組	15:03
13	混合	4×25m メドレーリレー	3組	11:41	31	男子	50m 平泳ぎ	12組	15:12
14	女子	100m 個人メドレー	9組	11:48	32	女子	50m バタフライ	3組	15:26
15	男子	100m 個人メドレー	11組	12:09	33	男子	50m バタフライ	7組	15:30
16	女子	100m 自由形	6組	12:32	34	混合	4×25m フリーリレー	3組	15:38
17	男子	100m 自由形	11組	12:45	35	女子	4×100m フリーリレー	1組	15:44
18	女子	100m 背泳ぎ	5組	13:04	36	男子	4×100m フリーリレー	2組	15:50
競 技 終 了									16:00

B 面 競 技

37	女子	400m 自由形	3組	10:00	40	男子	1500m 自由形	6組	11:46
38	男子	400m 自由形	4組	10:23	41	女子	800m 自由形	2組	14:34
39	女子	1500m 自由形	2組	10:51	42	男子	800m 自由形	3組	15:13
競 技 終 了									15:58

<競技予定時間>

競技予定時間は競技進行により、前後することが予想されます。電光表示板には、A面・B面での実施種目と組が表示されています。競技の進行を確認し、招集に遅れないようにしてください。招集受付に遅れると棄権扱いとなります。

5. 競技参加の注意

■（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則（抜粋）

- (1) 出発について（背泳ぎを除く）
 - a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台、プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。(MSW4.1)
 - b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。(MSW4.1)
 - c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁につける。(MSW4.1)
- (2) 背泳ぎについて
 - a. 競技中は、泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、およびスタート後、折り返し後の壁から15m以内の距離では、体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。(MSW6.4)
 - b. 折り返しの動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後は折り返しを始めるために、速やかに一連の動作として、片腕あるいは同時の両腕のかきを使用することができる。(MSW6.5)
- (3) 平泳ぎについて
 - a. スタートおよび折り返し後の一かき目は、完全に脚のところまで持って行くことができる。その間泳者は水没状態であってもよい。スタート後、折り返し後に、最初の平泳ぎの蹴りの前にバタフライキックが1回許される。(MSW7.1)
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、両手が同時にかつ離れた状態で行わなければならない。タッチは水面の上下どちらでもよい。折り返しおよびゴールタッチ直前は足の蹴りにつながらない腕のかきだけになってもよい。(MSW7.6)
- (4) バタフライについて
 - a. 全ての足の上下動作は同時に行わなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。(MSW8.3)
 - b. 折り返しおよびゴールタッチは、水面の上もしくは下で、両手が同時に、かつ離れた状態で行わなければならない。(MSW8.4)
 - c. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回のキックと一かきが許される。スタートおよび折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15m地点までに頭は水面上に出ていなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールタッチまで体は水面上に出ていなければならない。(MSW8.5)
- (5) 招集について
競技者は、競技会の主管団体が公表した招集の要領に従い、出場前に出場の確認または点呼を受けなければならない。また、公表された組・レーンで出場しなければならない。(MSW10.4)
- (6) 競技終了後の退水について
泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他妨害行為をした場合も失格となる。(MSW10.9)
- (7) リレー競技の第1泳者の記録について
4×25mのリレー競技を除き、リレーの第一泳者の記録は新記録に申請することができる。(MSW13.5)
- (8) 水着の規定について
競技会で着用できる水着は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。(MSW15.1)

<競技方法>

- (1) 2016年(一社)日本マスターズ水泳協会競泳競技規則に則り行います。4月1日より競泳競技規則が一部変更になりました。選手は、前記した競技規則をご理解のうえ、出場してください。
- (2) 競技は、すべて男女別、年齢区別のタイムレース決勝とします。
- (3) 年齢は、暦年齢(2016年12月31日現在の満年齢)とします。
- (4) 組み分けは、原則としてエントリーに従い、男女別(混合リレーを除く)・年齢区別に組み分けを行い高年齢から低年齢へタイムの遅い組から速い組への順で行います。ただし、競技進行上の理由により、一部複数の年齢区分で組み分けを行う組もあります。
400m以上の個人種目については、年齢区分に係わらずタイムの遅い組から速い組への順に行います。
- (5) 競技は、A面(ダイビングプール側)とB面(電光表示板側)の各25m×8レーンの2面で同時に行います。原則として200m以下の個人種目ならびにリレー種目はA面、400m以上の個人種目はB面で行います。A面とB面で招集所が異なりますので、間違いのないように各招集所へお越しください。

<チーム受付>

チーム責任者は、同封の「チーム受付票」に必要事項を記入のうえ、2階チーム受付に提出し、参加章・公認記録証・プログラム(注文分)を受け取ってください。チームごとにまとめて参加者分をお渡しします。

プログラムに記載されている氏名・種目等を必ず確認してください。プログラムの印刷ミスがあった場合は、チーム責任者が所定の用紙に記入のうえ、競技開始の2時間前までに、インフォメーションデスクに提出してください。※所定用紙は、インフォメーションデスクにあります。

<リレー>

- (1) リレーオーダーの変更は、所定の用紙に必要事項を全て記入のうえ(プログラムNo・組・レーンも記入)変更締切時間までに、インフォメーションデスクへ提出してください。変更のない場合は、提出の必要はありません。
- (2) 変更は1度のみとなり、年齢区分の変更はできません。
- (3) 同一リレー種目には、年齢区分にかかわらず1人1回しか出場できません。
- (4) リレー種目の招集は、4名が揃わないと招集受付できません。
- (5) リレーの第2泳者以降が水中からのスタートを希望するチームは、必ずインフォメーションデスクにて指定の用紙で申告または招集所で申し出が必要です。許可なく水中からスタートするためにプールに入った場合、失格になります。なお、世界記録に挑戦するリレーチームはFINAのルールが適用されるため、第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録は認められません。
- (6) リレーオーダー変更届提出締切時刻

距離	種目	締切時刻	距離	種目	締切時刻
4×25m	女子・男子メドレーリレー	9:30	4×25m	混合フリーリレー	14:30
	混合メドレーリレー	10:30	4×100m	女子・男子フリーリレー	14:30
	女子・男子フリーリレー	13:00			

<チームリーダーミーティング>

4月24日(日) 9:00 から 選手控室2(会場案内図⑫)にて行います。
競技上の注意事項や規則改定について連絡します。必ずチームの代表者1名が出席してください。
今年度の規則改正について説明します。

< 招 集 >

- (1) 招集所では、招集員に組・レーン・名前を自己申告し招集受付をしてください。この際に選手確認のため、IDカード（誓約書欄に署名がない場合は無効）を提示してください。
- (2) 招集所は、
A面招集所（200m以下の個人種目・リレー種目）　ダイビングプール側プールサイド
B面招集所（400m以上の個人種目）　　　　　電光表示板側プールサイド　　です。
プログラムの競技予定時間表で確認のうえ、遅れないように招集所へお越してください。
- (3) 招集所へは、ご自分の出場する種目、組の6レース前までに（25m種目は、10レース前までに、400m以上の種目は2レース前までに）お越してください。競技の進行をご確認のうえ、招集遅れのないように注意してください。電光表示板にその時実施されている種目・組が表示されますので、必ず確認のうえ、招集遅れのないように注意してください。
- (4) 招集所では「第〇組」と組が呼ばれます。ご自分の出場する組であれば招集員に「組・レーン・名前」を自己申告し、招集受付を済ませ、指示に従い並んでください。
ご自分の組とレーンは、忘れないように、また、間違わないように申告してください。
- (5) リレー種目は、出場者4名揃わないと招集受付できません。4名揃ったら、泳ぐ順に各人が自己申告し、招集受付をしてください。
- (6) 招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。

< スタートについて >

- (1) スタート前のメインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そのバケツで行ってください。
- (2) 前の組がスタートしたらスタート台の後ろに立ち、自分のレーンを確認してください。組・レーンを間違えると失格となります。
- (3) 公式スタート練習は、9：10～9：30にメインプールA面全レーンを使用して行います。変更の場合は当日通告より発表します。
なお、公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛込み練習ではありません。
- (4) マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②プールデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお勧めします。

< プールからの上がり方 >

- (1) スタートは、25m種目を除きオーバー・ザ・トップ方式で行います。
- (2) 個人種目の場合、ゴールタッチした選手は、横からプールサイドへ退水してください。（自分のレーンからも可能）また、競技役員の指示があった場合は指示に従い、他の選手の妨げにならないように注意してプールから上がってください。プールサイドへ移動する時は、タッチ板に触れないように注意してください。
- (3) 25m種目は、次の泳者がゴールタッチするまでに、速やかに上がってください。
- (4) 25m以外の種目は、ゴールタッチした選手は、レーンロープにつかまり次の組がスタートした後、プールから上がってください。
- (5) リレー種目はゴールタッチした選手は競技役員の指示に従い、他の選手の妨げにならないよう、またタッチ板に触れないように注意してプールから上がってください。

< ウォーミングアップ >

メインプール・サブプールの指定時間で、ウォーミングアップが可能です。（P1「1. 大会日程」参照）
なお、大会期間中ダイビングプールの使用はできませんので、注意してください。

<申告が必要な方>

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は「出場申告用紙」にて出場種目開始予定時間1時間前までにインフォメーションデスクへ申告を行ってください。

- ① 世界記録に挑戦する方
※ 世界記録に挑戦する方は、次項<世界記録の申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について>を確認してください。「出場申告用紙」は不要です。
- ② テープ等をされる方
※ 本来テープ等は認められませんが、やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください。
※ 指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は申告を行っても許可できない場合がありますので注意してください。
- ③ 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性がある方
※ エントリー時に申告している方は、再度申告の必要はありません。
- ④ 出場に介助が必要な方
※ 出場に介助が必要な方は、チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません(一緒に水中に入ることは不可)。ゴール後は役員の指示を優先し介助してください。
- ⑤ リレーの第2泳者以降が水中からスタートするチーム
世界記録に挑戦するチームの第2泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界記録の公認はされません。

<世界記録の申請および日本記録・世界記録該当者の着用水着について>

世界記録の達成が予想される選手およびチームは、出場するレースの1時間前までに規定用紙に必要事項を記入のうえ、インフォメーションデスクへ必ず申告してください。また世界記録を達成された場合、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピーまたは住民票のコピー(3ヶ月以内のもの)」が必要となりますので準備してください。

世界記録突破者は、競技終了後、水着着用写真を撮影します

F I N A承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められません。

※2016年4月より、リレー種目(4×25mを除く)の第1泳者の新記録の申請が可能になりました。世界記録に挑戦される方は、必ず申告してください。

<表 彰 >

- (1) 出場選手全員に参加章および(一社)日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与します。
(チームごとに渡しますので、チームの代表者または代理の方が「チーム受付票」を大会期間中にチーム受付まで持参してください。)
- (2) 個人種目、リレー種目とも各会場の男女別・種目別・年齢区分別の各上位3位までメダルを授与します。ランキング発表後入賞者は、メダル受渡所にてIDカードを提示しメダルを受け取ってください。
メダルの受け渡し時間は、競技終了20分後までとします。
- (3) マスターズ日本記録を突破した選手およびリレーチームは、「日本新記録樹立証」授与の表彰を行います。日本記録を突破した競技終了後に行いますので、予定時間の前に本部席にお越しください。
- (4) マスターズ世界記録を突破した選手およびリレーチームは、「世界記録突破証」授与の表彰を行います。世界記録を突破した競技終了後に行いますので、予定時間の前に本部席にお越しください。
- (5) チーム代表者の方が、出場者のメダルを代わりに受け取ることはできません。
- (6) 当日会場でメダルを受け取ることができない選手には、送料本人負担で後日送ることができます。希望者は、メダル受渡し所にて手続きをしてください。

< 異議申し立てについて >

競技開始前に判明した異議は、そのレースの出発の合図の前までに、審判長に文章にして提出してください。競技の失格内容や状況等に異議がある時は、そのレース終了後30分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料5,000円を添えてインフォメーションデスクに提出してください。抗議書の内容を大会総務で検討し裁定します。なお、抗議の申請はチームの責任者に限られます。(一般選手からの抗議の申請は受けません。)抗議内容が承認された場合は抗議料を返金しますが、抗議内容が却下された場合は抗議料は返金しません。

その他、違反内容の問合せについては、規定用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクに申し出てください。

< 健康管理 >

- (1) 大会中の健康管理は本人の責任とし、ご自分の体調には十分留意してください。
- (2) 会場内で、ケガや体調が悪くなった場合は、医務室にて救急処置は行いますが、その後の処置は参加者側で行ってください。
- (3) 当日、ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。特にリレー種目では1人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
- (4) 各チームは所属する参加者について次のことを確かめてください。
 - a. 医師の健康診断または自己申告に基づいて健康に異常がないこと。
 - b. 競技会当日より前1ヶ月間、週1回以上の水泳練習を行っていること。
 - c. 「マスタース水泳キーワード9」をよく理解し、参加すること。
- (5) 大会期間中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従うこと。
- (6) 資料の「レース前の安全確認」は必ず選手全員が確認してください。

< 貴重品の管理 >

貴重品は、個人またはチームで管理してください。選手控え室・観覧席・プールサイドに小銭入れ・カードケース・携帯電話を入れた袋を放置したままウォーミングアップを行い、その間に盗難に遭うケースがよくあります。仲間同士で管理しあうようお願いいたします。

< IDカード >

- (1) 2次要項同封のIDカードの誓約書欄に必ず署名をしてください。署名がない場合は招集が受けられません。また、裏面の大会当日緊急時の連絡先の記入も忘れずをお願いします。
- (2) 大会当日IDカードを紛失および忘れた場合は、会場のインフォメーションデスクにて再発行を行ってください。なお、再発行料として500円が必要です。

< カメラ・ビデオ・携帯電話の撮影について >

撮影許可なしでカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をすることはできません。

選手・応援者の方で、カメラ・ビデオ・携帯電話での撮影を希望される方は、インフォメーションデスクにて撮影許可シールを受取り、撮影の際は必ず左上腕部に貼付してください。許可シールをなしにカメラ・ビデオ・携帯電話での撮影をしている不審者を見かけた場合は、大会本部へ連絡してください。なお、撮影許可シールがあっても、プールサイドでの撮影はできません。

6. 施設使用上の注意

- (1) 別紙「会場使用の注意事項」を必ず確認のうえ、参加してください。
- (2) マスターススイマーとして、マナーを守り館内をきれいに利用しましょう。
- (3) 会場利用には、P3「3. 会場案内図」を参照ください。

(4) ゴミは各自で屋外正面玄関横のコンテナ内へ処分をしてください。

7. 個人情報および肖像の取り扱いについて

本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては、以下のとおりです。

① 個人情報

- ・ プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
- ・ 競技結果としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に掲載します。

② 肖像

- ・ 大会報告としてホームページ、マスターズニュース等の媒体に使用します。
- ・ 以降マスターズ水泳の普及活動のために使用します。
大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は本協会に帰属します。

8. 会場内での撮影について

競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をYouTube等のWEBサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いいたします。また、会場BGMをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。なお、撮影許可証は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

9. 大会当日緊急時の連絡先について

申込時およびIDカードに記入の大会当日緊急時の連絡先については、事故・怪我の発生など万が一の際に使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。

※ 緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号のことです。

(1) 責任者が会場へ同行される場合

出場者全員の緊急時の連絡先を把握し持参してください。

(2) 責任者が会場へ同行しない場合

大会当日、緊急時の連絡先についての問合せをした際に伝えられるよう準備してください。

10. その他

(1) 選手席は、2階観覧席並びに観覧席裏通路です。

(2) リレーオーダー変更用紙・棄権の申し出用紙は、コピーして利用してください。

(3) 棄権者はチームでまとめて棄権申し出用紙に記入のうえ、インフォメーションデスクに提出してください。

(4) 貴重品ロッカーとしてチームに1つロッカーキーをお渡しします。

希望のチームは別紙「貴重品保管用ロッカーのご案内」の案内を確認し、「貴重品ロッカー使用申請書」に必要事項を記入のうえ、代表者が受付へ申請書を提出し鍵を受け取ってください。ただし、鍵1つの保証金として2,000円をお預かりします。2,000円は鍵返却時にお返しします。(鍵を必ず返却していただくための措置) 釣り銭のないようお願いします。(できるだけ千円札2枚をお願いします。)

(5) 大会期間中は忘れ物のないように確認してください。忘れ物は、2階大会受付にて大会期間中は保管していますが、**大会終了後1週間で廃棄処分します。**

(6) 大会会場にて、マッサージ器具(ベッド等)を持ち込んでの有料でのマッサージ行為や私的チラシ物の配布等による宣伝活動を無断で行うことを禁止します。

(7) 大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止となった場合は、「参加章(バッジ)」「プログラム(申込分)」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。

撮影許可申請書の提出について

近年、各大会におきまして選手を不当な目的で盗撮する事件が頻繁におきています。特に最近はマスクでも報道されているように赤外線カメラを使用するなど手口も巧妙かつ悪質となっているケースが多くみられます。こうした不祥事を防止するために、本大会におきましては撮影許可の申請を行わない者はビデオ、カメラ、携帯電話等での撮影を禁止することにしました。

つきましては貴チームの関係者で、本来の目的による撮影を希望する方は、下記をお読みのうえ、撮影許可申請書に必要事項を記入し、撮影許可シール代金を添えて申請書を撮影許可申請デスク（2階大会受付）に提出してください。

記

1. 本来の目的による撮影以外には発行しないでください。
2. 撮影許可を証明するシールを左上腕に貼付して撮影することを貸出の条件とします。
3. 撮影許可申請書と引き換えに許可を証明するシールを購入してください。
1人 1枚200円（当日限り有効）
4. 撮影許可は、各チームで取りまとめて申請をしてください。
5. 各チームで撮影許可申請書発行簿を作成し、申請状況を完全に把握してください。
（書式は各チームによるものとします）
6. 所属チーム名、チーム責任者名の記入、押印のないものは無効とします。
7. 撮影許可申請書を提出した場合であっても、アリーナ内での撮影は禁止します。
また、赤外線フィルター・赤外線装置を使用しての撮影は禁止します。なお、機材や映像の点検をさせていただくことを撮影許可の条件とします。
8. 撮影許可シールの申請者以外への貸し借り・譲渡は固く禁止します。
9. 使用済みの撮影許可証明シールは各自で責任を持って破棄してください。

以上

----- き り と り -----

<2016年度日本マスターズ水泳短水路大会・鈴鹿会場>

No. _____

撮影許可申請書

使用日：2016年4月24日

チーム No.	—	チーム名	
申請者名			
続柄	コーチ・選手・家族・親戚・その他（ ）		
住所			
電話番号			
申請枚数	枚（1枚200円）	合計金額	円

貴重品保管用ロッカーのご案内

貴重品保管用のロッカーとして、チームに1ヶ所のロッカーを貸し出します。ご希望のチームは下記の「貴重品ロッカー使用申請書」に必要事項を記入のうえ、受付に提出してください。ロッカーは数に限りがありますので、利用できない場合があります。

使用の際は下記の事項に従ってください。

- ・ロッカーキーの保証金として2,000円お預かりします。
2,000円はロッカーキーの返却時にお返しします。
- ・貴重品保管用ロッカーは使用申請したチームのみ利用できます。
- ・競技終了後ただちに返却してください。**必ず申請者本人が返却してください。**
- ・大会当日にロッカーキーの返却がない場合は、保証金は返却しません。
また、紛失・破損の場合は、5,000円をお支払いいただきます。
返却の際は必ずロッカーを忘れずに施錠し、返却してください。
- ・つり銭はございません。できるだけ1,000円札2枚を用意してください。
貴重品保管用ロッカー設置場所：メインプール男女更衣室の指定ロッカーを利用してください。
更衣用ではありません。
- ・ロッカーに荷物の紐が挟まり、荷物が取れなくなる事態が非常に多く発生しています。ロッカーの上・床へ荷物を置くことはやめてください。荷物が取れなくなっても自己責任とさせていただきます。

----- き り と り -----

<2016年度日本マスターズ水泳短水路大会・三重（鈴鹿）会場>

貴重品ロッカー使用申請書

※チームに1つに限ります。

主催者記入欄	
	4/24(日)
ロッカーNo.	

※太枠内を必ず記入してください。

チーム名			
チームNo.	—	氏名	印
住所			
電話番号	クラブ・自宅・会社		

責任者署名

印

リレーオーダー変更届

(この大会の個人種目に全員がエントリーしていなければなりません)

変更

大会名	2016年度日本マスターズ水泳短水路大会		
期日	2016. 4 . 24	会場	三重(鈴鹿) 会場

チームNo.	0	チーム略称	
申込責任者		エントリー タイム	分 秒

出場種目		
プログラムNo	組	レーン
	女子	男子
	4 × 25m	4 × 100m
	4 × 50m	4 × 200m
		混合
		フリーリレー
		メドレーリレー

第1泳者		女・男
		<暦年齢>
		歳
<登録者シール貼付可>		
第2泳者		女・男
		<暦年齢>
		歳
<登録者シール貼付可>		
第3泳者		女・男
		<暦年齢>
		歳
<登録者シール貼付可>		
第4泳者		女・男
		<暦年齢>
		歳
<登録者シール貼付可>		
合計 年齢		歳

リレー区分	119歳 以下	120~ 159歳	160~ 199歳	200~ 239歳	240~ 279歳	280~ 319歳	320~ 359歳	360~ 399歳
-------	------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------

自動計時	分	秒
手動計時	分	秒
記録	分	秒

※網掛け箇所以外全て記入してください。

(一社)日本マスターズ水泳協会

※ コピーしてお使いください（A4サイズ 白統一 裏紙不可）。

三重（鈴鹿） 会場

申告日： 2016 年 月 日

出場申告用紙

大会名	2016年度日本マスタース水泳短水路大会										
チーム名					登録番号						
カガナ				年齢	チームID			個人ID			
氏名	女・男			歳	0						

① 出場にあたって申告が必要な項目（□にチェックをしてください）

- テープ等を使用する（大会当日審判長の確認が必要です）
- 障がいをお持ちの部位による泳法違反を回避したい
- 障がい等により招集後も介助者の同行もしくは補助具の使用が必要
- リレーの第2泳者以降が水中スタートする
- その他

※ 詳細な申告内容は ②申告内容 に記入すること。

② 申告内容

③ 出場種目

	プログラム	年齢区分	種目	組・レーン
1	No.	歳区分	m	組 レーン
2	No.	歳区分	m	組 レーン
3	No.	歳区分	m	組 レーン
4	No.	歳区分	m	組 レーン
5	No.	歳区分	m	組 レーン
6	No.	歳区分	m	組 レーン

※ 大会のお申し込みの際に申告する方は組・レーンは空白で提出してください。

※ 大会当日申告する方は組・レーンまで記入のうえ、提出してください。

受付者		審判長			
-----	--	-----	--	--	--

◆会場へ来られる方は必ず読んで確認してください

日本マスターズ水泳短水路大会・三重（鈴鹿）会場実行委員会

三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場使用の注意事項

開場時の注意

- ・選手および付添者の入退場は、会場2階入口より行います。
- ・開場時チーム関係者の方が場所取りのために会場内を走るのは大変危険です。絶対にやめてください。毛布・シート・荷物等による観覧席の場所取り（イスの確保）も禁止です。
- ・前日から入場口に並ぶことはできません。（当日の朝6時以降）

プール・観覧席の利用について

1. 更衣室へは、2階観覧席裏の階段から1階へ下りてください。プールサイドへは、更衣室より入場できます。
2. プールサイド・更衣室は素足で使用してください。サンダル等の履物は禁止です。競技役員は、プールサイド内での白色の上靴は許可されますが、サンダルは禁止です。
3. 飲食について
 - ・プールサイド・観客席での飲食は禁止です。飲食は観覧席裏の通路もしくは屋外を利用してください。
4. 更衣室ロッカーは使用禁止
 - ・男女更衣室ともロッカー数に限りがある為、更衣室では更衣のみの利用となります。ロッカーは個人使用できません。
 - ・なお、ロッカーは、貴重品保管用として使用します。ご希望のチームは、大会受付にて同封の所定用紙で申請してください。
 - ・ロッカーに荷物の紐が挟まり、荷物が取れなくなる事態が非常に多く発生しています。ロッカーの上・更衣室の床に荷物を置くことはやめてください。荷物が取れなくなっても自己責任とさせていただきます。
5. 会場施設
 - ・観覧席の最前列は転落防止のため立っての応援などを禁止します。必ず着席をしてご使用ください。
 - ・観覧席での更衣ならびに水着姿での通行も禁止です。更衣室での更衣にご協力ください。
 - ・けがをする恐れがありますので、観客席並びに観客席裏の通路は必ず履物を履いて通行してください。
 - ・救護室は、大会本部横にあります。
 - ・サブプールの更衣室を使用することは出来ません。
 - ・館内の通路は水にぬれると大変すべりやすくなります。十分注意をして下さい。
6. その他
 - ・観覧席等は、各チームとも譲り合って利用してください。また、競技役員の指示に従ってください。
 - ・ごみは、各自で屋外正面玄関横のコンテナ内に処分をしてください。
 - ・その他、次のことを**禁止**します。
 - ①火気の使用。
 - ②指定場所以外での喫煙。（館内は禁煙です。）
 - ③会場内外でのテーブル類、くぎ、画びょう等の使用。
 - ④ピン類、カン類、アルコール類およびチューインガム等の会場内への持ち込み。
 - ⑤会場内の電源コンセントを使用すること。

◆参加者の皆さんへ必ずお渡しいただくかご一読ください

(公財) 日本水泳連盟医・科学委員会
日本水泳ドクター会議
(一社) 日本マスターズ水泳協会

事故が起こってからでは遅すぎる・・

「レース前の安全確認」

ここ近年、マスターズ水泳での重大事故が見られます。選手の過信や無理から起こっています。健康な人でも、体調は日によって違うものです。睡眠不足、二日酔い、風邪ひきなどがあるとなおさら。泳ぐ前には身体の調子をご自分で確かめましょう。そして、ちょっとでもおかしいと感じたら、迷わず棄権しましょう。以下の項目に1つでも当てはまる場合は、事故が起こってもおかしくありません。棄権をお勧めします。マスターズ人生を長く続けるために！

<大会までの体調は大丈夫ですか？>

1. 定期的な練習を必ずしましょう。練習をせずいきなり大会に出場すると思わぬ事故が待っています。日頃の練習あってこそ楽しいレースができます。
2. 特に風邪、睡眠不足、二日酔い、疲労には気をつけて規則正しい生活を心がけてください。

<レース前に守っていただきたいこと！>

1. アルコールは禁物。前日飲み過ぎると血液の濃度が高くなり、普段よりレース中の心拍数と血圧が上がります。また、血液が濃くなり時には障害や事故が起こります。
2. 睡眠不足も同じこと。まずはベストの体調で出場してこそ、楽しくそしてベストタイムにつながります。
3. 事故予防標語「マスターズキーワード9」の実践をお願いします。

<レース当日の体調確認>

1. 準備体操・ウォーミングアップは、十分に。
2. タイム、順位にこだわらず、マイペースで無理せず泳ぎましょう。
3. もし体調が悪い時は、棄権しましょう。
4. レースが終わった後も、必ずクーリングダウン。水に体を浮かせ、ゆっくり泳ぎましょう。
5. 水分不足に注意。長い時間屋内プールにいると、結構汗をかいているものです。こまめに水分をとりましょう。

<こんな時は要注意！>

◎呼吸が苦しい、胸が苦しいとか痛い、疲労感（体がだるい）、めまい吐き気、筋肉・関節の痛み等がある時は、無理せずレース前に必ず医務室でドクターに相談し棄権してください。

<安全なスタートを！>

◎マスターズ水泳のスタートは、①スタート台上、②スタートデッキ、③水中からのスタートが許されています。初めて競技に出場する選手や飛込みの練習をしていない選手は、安全面から、スタート台横や水中からのスタートを勧めます。安全な飛込みを理解のうえ、出場をお願いします。

「 医務室」は、更衣室からプールへ向かう廊下右側にあります。

ドクターおよび看護師が、待機しています。当日の体調相談もOKです。